

近畿ろうきん 社会貢献預金（笑顔プラス） 寄付金を活用した活動報告

社会貢献預金（笑顔プラス）は、預金者の寄付負担（金利引下げ分の利息相当額）と近畿ろうきんからの拠出金の合計額を毎年度、NPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

2023年6月の寄付金は総額2,734,772円となり、当金庫から各団体に寄付を行いました。また、2018年度からの累計の寄付総額は1,409万円となりました。

残高：121億73百万円
(2023年3月31日現在)

預金者からの寄付負担 234,772円
当金庫からの拠出金 2,500,000円

寄付金額：地区別団体 217,608円（1団体あたりの寄付金）
近畿共通団体 279,346円（1団体あたりの寄付金）

滋賀地区 公益財団法人 国際湖沼環境委員会 (国際協力・環境保全)

2022年度に頂きました寄付金は、若者や市民等、多様な主体がエコツーリズムという身近な文化的サービスの側面から湖沼環境の重要性を再認識し、行動を促す機会を創出する目的で、10月に開催いたしました「国際シンポジウム2022 “未来につなぐ湖沼の価値”」の開催費用に活用させていただきました。



京都地区 NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク (地域づくり・防災)

コロナ禍が続く中で、外国をルーツに持つ家庭やひとり親家庭、子どもがたくさんいる家庭、一人暮らしの高齢者などへの支援を行い、食糧や生活用品、参考書などの配布と共に、困りごとを聞き、様々な支援に繋げました。また、傾聴講座を開催し、支援者としてのスキルアップも行いました。



京都地区 NPO法人 山科醍醐こどものひろば (子ども支援・貧困対策)

京都市山科区と伏見区醍醐地域に住む、家庭的に困難さを抱える子どもに対して、食事・学習・余暇支援、食材配布を実施しました。不登校、虐待など様々な課題を抱えている子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアなどがマンツーマンで信頼関係をつくり、安心・安全でホッとできる居場所をつくってきました。



和歌山地区 認定NPO法人 わかやまNPOセンター (地域づくり・防災)

紀伊半島沿岸を走るJR紀のくに線や紀州鉄道を持つ当地和歌山・御坊では、列車に乗車中発生した津波による犠牲者を出さない取組みが重要です。今回、紀州鉄道さんの全面協力を得て、列車に乗っていて、津波が想定される地震が来た時、どのように避難行動をするのかを実践的に学びました。



大阪地区 公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト (日本初の地域型の子どもホスピス)

今年度も、医師から感染症予防の為に公共交通機関の乗車制限等を受けたご家族向けに、TSURUMIこどものホスピス利用の際、タクシーを利用いただきました。笑顔プラスのご寄付はそういった個別な利用を支えるべく交通費に使わせていただきました。



代表理事 高場 秀樹



大阪地区 認定NPO法人 いくの学園 (女性・マイノリティ支援)

サバイバー（被害当事者）支援拠点の運営維持、シェルターへ緊急避難された人のための給食費と交通費などに活用しました。そして、生活を立て直すために様々な機関（病院、法律事務所、役所、警察など）に同行し、子どもから70代までの幅広い人たちが新しい生活へのスタートを切りました。



理事長 雪田 樹理



大阪地区 NPO法人 日常生活支援ネットワーク (障がい者生活支援)

「第13回被災障害者↔関西ポジティブ生活文化交流祭」を、大阪市立長居公園にて開催しました（公園での開催は2019年以来）。関西の障がい当事者と支援団体が50団体参加し、全国の被災障がい者救援活動と結びつき、顔が見える関係作りと地域での障がい者の活動を知つてもらうための活動に寄付金を活用しました。



理事長 柿久保 浩次



兵庫地区 一般財団法人 あしなが育英会 (災害・病気等の遺児支援)

東日本大震災遺児への心のケア活動を、仙台・石巻・陸前高田の各レインボーハウスで行いました。新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、計40回のプログラムを開催し、子どもたちの笑顔がレインボーハウスにも戻りつつあります。12年目の3月11日には、久しぶりにレインボーハウスに顔を出してくれた遺児家庭もいました。



会長 玉井 義臣



兵庫地区 NPO法人 CODE海外災害援助市民センター (国際協力・被災地支援)

2022年2月に発生したウクライナ戦争による避難民42名を支援する「MOTTAINAI野菜便」の活動に活用させていただきました。また、そのウクライナ避難民を支える学生ボランティアや若者を中心としたCODE未来基金の活動にも一部活用させていただきました。



代表理事 室崎 益輝



近畿共通 認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク (災害支援・防災)

災害支援として、令和2年7月豪雨災害で水没した写真を洗浄し、持ち主に返却するため熊本県人吉市・球磨村を訪問し、大変喜ばれました。防災啓発では、西宮を中心に「おやこ防災講座」を防災アニメ「ももたろう」（地震・水害・津波の3話構成）を活用し、対面とオンラインのハイブリッドで開催しました。



近畿共通 NPO法人 関西NGO協議会 (国際協力)

高校生を対象とした国際協力・SDGs・多文化共生のイベントとして、「Summer SDGs festival for Youth」を8月に、13のプログラムを実施し、社会課題の解決に向けたアクションを起こす「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2022」を12月に開催しました。頂いた寄付金はそれぞれの実行委員会の活動や会場費に活用しました。

